

## 平成 21 年度 第 1 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 21 年 4 月 20 日（月） 午後 4 時 00 分～午後 6 時 00 分

場 所：県庁 10 階 会議室

出席者：病院局 病院事業管理者、病院局長、総務課長、  
経営企画課長 ほか

病院 中央病院長、三好病院長、海部病院長、中央病院副院長、  
三好病院副院長、各県立事務局長 ほか

### (1) 塩谷管理者あいさつ（プレゼン）

#### 【説明】管理者

平成 21 年度が始まった。私は知事部局よりの転入職員や新採用の職員に「徳島県病院局職員宣誓書」を読み上げてもらっている。

私は、ここに、地方公務員法 30 条に基づき、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念するとともに、徳島県立病院の基本理念である「県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる」ことを実現できるよう、ファインチームワークの精神で業務に当たることを誓います。

これには、三つのキーワードが含まれている。一つ目は、「地方公務員法第 30 条」に基づき、医療を通して県民に奉仕してほしい。二つ目は、「徳島県立病院基本理念」、県民に支えられるためには何をなすべきなのか、最後の砦となるためにはどのような医療を実践すべきなのか、を常に考えながら業務にあたってもらいたい。三つ目は、「ファインチームワーク」の精神で、県立 3 病院で助け合い、支え合ってもらいたい。この三つは、すべての職員の共通の価値観であり、行動指針であることを認識していただきたい。

これらの実現のため、本年度から 5 ヶ年で実施する「徳島県病院事業第二次経営健全化計画」を策定した。“医療の質・透明性・効率性の確保”、“人材の確保と育成”、“内部留保の安定的確保”、“組織の環境対応力の強化”を重要課題と位置付けている。病院の職員が何気なく行っている日々の仕事そのものが、実は時代の要請する医療の「質」と「透明性」、そして「効率性」に込んでいる、というシステムを我々は作らなければならない。この計画は、それを実践するための手引きである。平成 21 年度に発行する「私のカルテ」もその表現形である。

勤務医不足と赤字経営、そして公立病院改革ガイドラインなど、自治体病院

に逆風が吹いている。しかし「医療は文化だ」という私の想いを、地域住民がやっと理解してくれ、平成 20 年度には県西部で「三好病院を応援する会」や海部郡では「地域医療を守る会」が発足、そして知事は定数条例を改正し、140 人の増員を認めていただいたり、と追い風も吹いてきた。独法化ではなく、全適に留め置かなければ「自治体病院のアイデンティティ」が消失してしまう。「経済性の発揮」と「公共性の確保」という相反する命題を突きつけられる自治体病院であるが、すべての職員が心をひとつにベクトルをあわせ、この難局を乗り切っていきたいと考えている。御協力をよろしくお願いしたい。

### **(2) 平成 21 年 2 月末 決算見込みについて**

#### **【説明】病院局経営企画課 予算経理担当**

平成 20 年度の決算見込みを示す。来月には、平成 20 年度の決算概要を示したいと考えている。

### **(3) 平成 21 年度の経営戦略会議について**

#### **【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当**

「第二次経営健全化計画」において、平成 21 年度より中央病院で“私のカルテ”、各病院で“臨床指標のホームページ公開”を実施目標としている。本局と 3 病院が協力し、取り組みたい。

各病院経営戦略会議における住民代表参加だが、昨年度のあり方を踏まえて、平成 21 年度のあり方を検討していただきたい。

#### **【質疑等】**

**管理者：**住民代表参加者の人選については、各病院に任せる。住民代表の方に参加いただいているのは、「医療の透明性」の更なる確保に努めていく、という主旨である。

**三好病院：**臨床指標は、どのような指標を公表すれば良いのか。

**中央病院：**中央病院では、入院患者数や外来患者数等をホームページに公表している。

**三好病院：**どのような臨床指標を公開するかにより、三好病院の特性として現れる。全国では、どのような指標が公開されているのか。

**管理者：**全国ではどのような臨床指標が公開されているか。病院局で調査してもらいたい。

#### (4) 医薬品の購入業者の選定について

##### 【説明】病院局経営企画課 企画管理担当

医薬品を納入する業者の選定については、「徳島県病院事業医薬品納入業者選定委員会」または「徳島県病院局経営戦略会議」において審議し、選定することとなっているため、この会議でお諮りするものである。

#### (5) 平成 21 年度の各病院研修方針等について

##### 【説明】中央病院

現在では、中央病院では「中堅・幹部」の管理職の研修が不足している。また、平成 21 年度の研修方針として、認定看護師等の様々な研修による人材養成に務めていきたい。研修が個人に帰依するのみならず、組織全体の活性化を高める職種横断的な研修会を企画していきたい。

##### 【説明】三好病院

平成 21 年度の三好病院の研修方針として、

「信頼と評価の向上」を目的とし、院内研修・院外研修に取り組む。

「病院機能の強化・向上」を目的とし、地域医療連携や急性期・救急・がん医療機能の医療水準の向上に取り組む。

上記以外に、災害関係等の様々な研修にも取り組んでいく。

また、研修で習得した知識技能は、報告会等の開催により職員間での共有を図っていく。

##### 【説明】海部病院

平成 21 年度の海部病院の研修方針として、

D P C の円滑な導入及び運用

各部門の専門性の発揮とチーム医療の推進

地域医療連携活動

の推進に主眼を置き、認定看護師養成等の長期研修、学会や講習会等の短期研修といった色々な研修に取り組んでいく。

また、研修で習得した技術や知識は、院内での共有化を図り、日々の業務の中で具現化していく。

##### 【質疑等】

病院局：薬剤局の今後の研修方針に示されている資格を取得するためには、ある程度の病院勤務経験を必要とするのか。

中央病院：概ね 5 年以上、若しくは 3 年以上とされている。しかし、現実には一旦異動してしまうと取得は難しくなる。第二次経営健全化計画にも示されている病院局独自採用などを検討してもらいたい。

**管理者：**徳島県立病院の研究研修費/医業収益は、全国平均を大幅に上回っている。しかし、私は研究研修費を削減しようとは思っていない。各病院とも、投資額に見合う効果的な活用方法を考えてもらいたい。また、図書についての委員会を開き、購入している図書を本当に活用しているのかどうか、見直しを図ること。